

競争入札経過調書（最低価格落札方式）

件名 進入方式の定量的逸脱リスク検証に係る調査

開札年月日 令和6年1月18日（落札決定日 令和6年2月2日）

入札執行官署 国土交通省航空局

落札金額 ￥13,970,000 -

落札者 一般財団法人航空交通管制協会

予定価格 ￥18,635,270 -

積算額 ￥18,635,270 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥16,941,155 -

調査基準価格 ￥14,830,733 - 調査基準価格の100/110 ￥13,482,485 -

低入札価格調査実施済 第1回 落札

入札参加者	第1回入札	第2回入札	摘要
	入札金額	入札金額	
一般財団法人航空交通管制協会	12,700,000		第1回 落札
一般財団法人航空保安研究センター	13,100,000		

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。

※ 予定価格（入札書比較価格）の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。

〈 落札者の決定について 〉

件 名： 進入方式の定量的逸脱リスク検証に係る調査

入 札 年 月 日： 令和6年1月18日

入 札 場 所： 国土交通省 航空局 入札室

上記入札について、予算決算及び会計令第86条第1項の規定により調査した結果、次のとおり落札者を決定をしたので、契約事務取扱規則第10条第3項の規定により公表する。

1. 落 札 者： 一般財団法人航空交通管制協会

2. 落 札 者 決 定 日： 令和6年2月2日

令和6年2月2日

支出負担行為担当官
国土交通省航空局長 平岡 成哲

低入札価格調査の実施概要（測量又は建設コンサルタント等）

件 名：進入方式の定量的逸脱リスク検証に係る調査

発注機関：国土交通省 航空局

調査対象業者名：一般財団法人航空交通管制協会

項 目	内 容
(1) その価格により入札した理由	<p>調査対象者は、以下の点を理由とし入札価格を積算している。</p> <ul style="list-style-type: none">・調査対象者は、令和3年度に当局が発注した「東京国際空港における同時RNAV 進入運用の導入後安全性評価に関する調査」及び「新千歳空港・千歳飛行場の同時平行ILS/PAR 進入運用の導入後安全性評価に関する調査」を受注し、本件調査の対象であるRNAV 進入、ILS 進入及びPAR 進入の航跡解析を行った経験を有している。本件調査においても、過去の調査において同種作業に従事し、作業内容に精通した複数の技術者を中心とした体制を構築することで効率よく業務を遂行することが可能と判断した。・調査対象者は、前述の令和3年度の調査において、飛行状況データ航跡解析プログラム及び飛行航跡図作成用プログラム（飛行航跡の視点を任意に変更することが可能な立体的表示を含む図の作成が可能）を開発しており、本件調査の仕様書「3. 調査内容」にある各進入方式の定量的逸脱リスク検証においても同プログラムを活用することで省力化が可能であると判断した。
(2) 配置予定の技術者その他当該契約の履行体制	<p>本件調査の業務実施については、計6名の技術者（管理技術者1名、照査技術者1名、業務管理者2名、業務担当者2名）の配置を予定している。また、配置予定の6名のうち4名については、令和3年度に当局が発注した「東京国際空港における同時RNAV 進入運用の導入後安全性評価に関する調査」又は「新千歳空港・千歳飛行場の同時平行ILS/PAR 進入運用の導入後安全性評価に関する調査」の業務経験を有している。</p> <p>加えて、各業務担当者が解析、作成した結果は、各業務管理者により精査が行われた後、報告書として作成され、管理技術者によるとりまとめ及び最終確認を経て、照査技術者による審査が行われる体制となっており、調査結果の妥当性を担保する体制が採られているものと判断する。</p>

<p>(3) 手持ちの建設コンサルタント業務等の状況</p>	<p>当局発注の「国内高高度セクターと洋上セクター間におけるフレキシブルな経路選択に関する要件調査」が手持ち業務として存在するが、本件調査の2ヶ月前となる令和5年11月に着手済み且つ進捗は順調とのことで、当該業務が本件調査の進捗に影響を与えるものではなく、特段の支障はないものと判断する。</p>
<p>(4) 手持機械等の状況</p>	<p>該当なし</p>
<p>(5) 国及び地方公共団体等から過去において受注・履行した建設コンサルタント業務等の名称及び発注者</p>	<p>・東京国際空港における同時RNAV 進入運用の導入後安全性評価に関する調査（令和3年度、航空局） ・新千歳空港・千歳飛行場の同時平行ILS/PAR 進入運用の導入後安全性評価に関する調査（令和3年度、航空局） 航空局受注実績においては、業務不履行等の事実はなく、いずれも問題無く履行されている。</p>
<p>(6) 経営内容</p>	<p>調査対象者の経営内容は、最近3ヶ年分（令和2年度～令和4年度）の決算報告書及びヒアリングにより、健全な経営が行われていると判断する。</p>
<p>(7) (1)から(6)までの事情聴取した結果についての調査検討</p>	<p>今回、調査基準価格を下回る入札結果となった主たる要因は、過去に受注（令和3年度の調査2件）した経験から、効率的な作業を行うことが可能であるとして作業量の圧縮を見込んだことによる経費削減である。 実施にあたっては、各業務担当者が開発済みのプログラムを活用して業務を行う体制となっており、各業務担当者が作成した図や表は、各業務管理者が精査の上、調査報告書へ反映され、管理技術者及び照査技術者の複数の者による最終確認及び審査を経て、調査結果の妥当性を担保する体制が採られている。 調査対象者は過去に航空局から同種・類似の業務を複数受注しており、航空局受注案件においては業務不履行等の事実はなく、いずれも問題無く履行されていることから、本件調査の履行に支障を来すものはないと考える。 よって、調査対象者の入札価格は調査基準価格を下回っているものの、契約の履行について支障はないものと判断される。</p>
<p>(8) (5)の建設コンサルタント業務等の成績状況</p>	<p>調査対象事業者は、類似する調査も含めてこれまで2件の調査を航空局から受注しており、いずれも問題なく履行されていることを確認した。</p>
<p>(9) 経営状況</p>	<p>特に問題なし</p>
<p>(10)信用状況</p>	<p>法令違反の有無 該当なし</p>

	賃金不払いの状況	該当なし
	下請代金の支払遅延状況等	該当なし
	建設コンサルタント登録等における消除等の履歴	該当なし
(11)その他の必要な事項		特になし